■区民と議会をむすぶ情報紙

令和３年第４回定例会・新年合併号
（会期：11月30日～12月9日）

新宿区議会だより

No.300

令和４年（2022年）1月1日発行

発行：新宿区議会　☎ 03(3209)1111(代表)
〒160-8484　新宿区歌舞伎町一丁目４番1号
ホームページアドレス http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html

今号の主な内容

- 各会派・新年のあいさつ … 2、3面
- 第4回定例会 議案の概要と審議結果 …… 4面
- 令和3年度上半期 政務活動費・議長交際費 … 4面
- 議員研修会を開催 …… 4面
- 区政のここを問う！ 代表・一般質問 …… 5～7面
- 委員会の動き …… 8面
- 請願・陳情の審議結果 …… 8面

新宿区と富士山

新年のごあいさつ

新宿区議会議長　桑原 ようへい

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、ワクチン接種の進展や区民の皆様の感染予防への取り組み等により、感染者数が減少しましたが、地域経済や区民生活に多大な影響を及ぼしました。区議会では、アンケート調査を実施し、区民の議会に対する意識や意見等の把握に努めるとともに、定例会の外、臨時議会を開催し、新型コロナへの対策はもちろんのこと、地域経済の活性化、区民の暮らしの安全・安心への施策などに取り組みました。

一方、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、アスリートたちの限界に挑戦する姿は元気や勇気、感動そして、改めて、障害の有無に関係なく、人の可能性に気付くきっかけになったと思います。

さて、本年は、新型コロナへの警戒感を持って、第６波に備えつつ、ウィズコロナの時代に相応した、やすらぎと賑わい、そして暮らしやすさ一番の新宿に向けて、区議会一同、全力を尽くしてまいります。

本年3月に新宿区は区成立75周年を迎えます。歴史や文化を大切にしながら、更なる発展と、区民の皆様のご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

トップニュース

第4回定例会で可決した主な 議案

■■ 区長提出議案24件と議員提出議案2件を可決

（令和３年12月９日施行）

○議長、副議長、委員長、副委員長及び議員の期末手当の年間の支給月数を「3.05月」から「2.90月」とする。

○令和３年度一般会計補正予算（第１０号）
・新型コロナウイルス感染症感染者となり入院病床に空きがなく、自宅等に待機となる方の入院待機施設の整備・運営に要する経費
1億8,547万7千円
1億4,315万円　など

○令和３年度一般会計補正予算（第１１号）
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した施設利用制限による利用料金収入減等に伴う指定管理料の増額に要する経費
2億6,655万3千円
2億3,208万9千円　など

○令和３年度一般会計補正予算（第１２号）
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への臨時特別給付金の支給に要する経費
7億8,207万7千円
11億3,500万円　など

関連記事　４面

今定例会で議決した 意見書（要旨）

出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円となっています。費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賄えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となります。

国は、2009年10月から出産育児一時金を原則42万円に増額し、2011年度にはそれを恒久化、2015年度には一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分3万円を1万6,000円に引下げ、本来分39万円を40万4,000円に引き上げました。2022年1月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を1万2,000円に引下げ、本人の受取額を4,000円増やすとともに、増額に向けて検討することとしています。

一方、令和元年の出生数は86万5,234人で、前年に比べ5万3,166人減少し過去最少となりました。

少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせません。

よって、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを国会及び政府に強く求めました。

デフリンピックの東京招致を求める意見書

2025年は、1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてからちょうど100年目にあたり、その記念すべき年に東京でデフリンピックを開催することは、国内外に成熟した開催都市をアピールする、またとない機会となります。デフリンピックを東京で開催することにより、ろう者がろう者としての自覚と誇りを持ち、障害のある人もない人も、多種多様な人々と自由にコミュニケーションがとれるように「心のバリアフリー浸透」と「全ての人に開かれた言語・コミュニケーション環境づくり」を確実なものにしていくべきです。

よって、本区議会は、デフリンピックの日本招致にあたり、東京都が開催地として承認されるよう、積極的な行動を東京都に求めました。

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。

本紙は、新聞折り込みでお届けしています。主な区立施設、区内の駅・スーパーなどにも置いています。新聞を購読していない方には配達します。

新年を迎えて

コロナ禍を乗り越えて、安全安心な新宿のまちづくりに取り組みます

自由民主党新宿区議会議員団

新年おめでとうございます。

本年こそ、新型コロナウイルス感染症が収束して、穏やかな一年であってほしいと願います。

現在は落ち着きを見せるコロナですが、新たな変異株や欧州などの感染再拡大は、安心もできず、引き続き、基本的な感染防止対策が必要です。

今、区政の最重要課題は、区民の生命と健康を守るための新型コロナウイルス対策であり、コロナ禍からの区民の生活と地域経済の立て直しに取り組み、解決に尽力してまいります。

併せて、少子高齢化の中、高齢者・障害児者や子育ての支援施策、そして防災対策などの喫緊の課題解決に取り組み、区民生活を支える持続可能な新宿のまちづくりを推進してまいります。

下村　治生
5期
〒160-0021
歌舞伎町2-42-3
03(3200)7181

宮坂　俊文
7期
〒161-0031
西落合1-25-15-301
03(3951)9848

副幹事長
渡辺みちたか
1期
〒161-0032
中落合1-5-5-507
03(3950)0055

副幹事長
池田だいすけ
3期
〒169-0074
北新宿4-23-2
メゾン田中302
090(9571)6040

幹事長
渡辺　清人
2期
〒162-0067
富久町23-11
03(5269)1515

永原たかやす
1期
〒162-0801
山吹町355
佐藤ビル203
03(6228)0291

大門　さちえ
2期
〒162-0854
南山伏町1-22
03(5946)8644

桑原ようへい
3期
〒160-0023
西新宿8-1-8
03(3366)0071

佐原　たけし
5期
〒169-0051
西早稲田1-18-15
-404
03(3207)5271

おぐら　利彦
5期
〒160-0004
四谷1-3
03(3353)9000

感染症対策や生活支援など区政課題に全力で取り組みます

新宿区議会公明党

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策を行う中で、区民生活に必要な支援を重点的に行うことが求められています。

区議会公明党は、3回目のワクチン接種や医療体制の充実など、感染症対策に全力で取り組みます。また、高齢者のフレイル予防を通じた健康長寿と認知症対策の充実や、障がい者のグループホーム整備などを推進します。更には産前産後ケア事業の拡充やヤングケアラーの相談・支援体制の構築、防災・防犯対策の強化、中小企業支援策の推進、マイナンバーカードの利活用促進、温室効果ガスの排出量削減などにも力を入れます。

区民の暮らしを守り、誰一人取り残さない社会を実現するため、全力を尽くします。

北島としあき
3期
〒169-0074
北新宿1-13-3
03(3361)5315

豊島　あつし
3期
〒162-0041
早稲田鶴巻町537
メゾン三晃302
03(3232)5483

幹事長
野もと あきとし
4期
〒169-0073
百人町3-22-12-102
03(3368)5035

中村しんいち
4期
〒169-0072
大久保2-2-20-502
080(9804)7326

有馬としろう
5期
〒161-0032
中落合2-12-26-101
03(3952)8354

時光じゅん子
1期
〒161-0032
中落合3-4-17
090(2767)1179

副幹事長
木もと ひろゆき
2期
〒162-0812
西五軒町12-1-B101
070(6474)7447

副幹事長
三沢　ひで子
2期
〒162-0067
富久町36-10
080(9804)9740

井下田　栄一
3期
〒160-0012
南元町4-17-512
080(9804)7330

コロナ災害を乗り越えるため区民に寄り添う区政に

日本共産党新宿区議会議員団

新年おめでとうございます。2年近くになるコロナ禍で区民生活に大きな影響が出ていますが、みなさんの暮らしや営業はいかがでしょうか。

新宿区の昨年度決算は8年連続黒字で基金は31億円も積み増し基金残高は607億円です。一方、コロナ対策予算は407億円のうち区の財源は15億しか使っていません。

国は過去最大36兆円の補正予算を組んでいますが、コロナ禍で苦しむ多くの国民に届かない不十分な内容で、区独自の支援策が必要です。

私たち区議団は区民と力を合わせ、区民に寄り添う区政に切り換える年にしたいと思います。科学的なコロナ対策、くらし・営業の抜本的支援、気候危機やジェンダー平等など諸課題を改善するため一層力を尽くす決意です。

雨宮　武彦
8期
〒160-0017
左門町13
仙丈ビル501
090(1544)5088

副幹事長
沢田　あゆみ
7期
〒169-0051
西早稲田2-19-1
共美ビル
090(3088)9591

幹事長
川村のりあき
5期
〒161-0031
西落合1-32-18
070(6510)8893

団長
近藤　なつ子
7期
〒162-0052
戸山1-16-16-310
090(4849)3227

高月　まな
1期
〒169-0072
大久保1-3-3セイント
マンション402
080(5876)2337

藤原　たけき
1期
〒162-0801
山吹町311
榎本荘1階
070(5371)5853

あざみ　民栄
6期
〒162-0067
富久町9-11
ハイホーム本陣501
090(1802)4520

◆議　長　桑原ようへい

◆副議長　豊島　あつし

各会派あいさつ

長期にわたるコロナ禍の中、区民に寄り添った区政の実現に取り組む

立憲民主党・無所属クラブ

あけましておめでとうございます。

感染状況が落ち着き、少しずつ街や飲食店に賑わいが戻ってきた矢先に、新たな変異株であるオミクロン株が日本でも確認されました。今年も感染症との戦いが続くことと思いますが、スムーズなワクチン接種の実施など、なんとしても感染の再拡大を防止するために、あらゆる対策を講じなければなりません。

この他にも医療、介護、子育て、防災、雇用など、待ったなしの区政課題にも全力で取り組んでまいります。

今現在もコロナ禍の中、多くの区民の皆様が歯を食いしばって生活をされています。

一日も早く将来に希望をもって、より豊かな生活を送れるよう、皆様に寄り添いながら活動を続けてまいります。

副幹事長
久保こうすけ
3期
〒162-0825
神楽坂6-16
03(3260)0669

幹事長
志田　雄一郎
6期
〒160-0007
荒木町8
カインドステージ
四谷三丁目401
03(3355)0546

田中　ゆきえ
1期
〒169-0075
高田馬場3-34-14
090(8945)6686

小野　裕次郎
2期
〒161-0033
下落合1-15-21-610
03(6908)0440

区議会議員の寄附行為は法律で禁止されています

1　公職選挙法により、区議会議員等の政治家（候補予定者含む）は、年賀状等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出すことを禁じられています。

2　選挙区内の新年会、祭り、学校行事等でお金や物を贈ることも一切禁止されています（開催通知に会費の金額が明記されている場合は除く）。また、有権者（実行委員会、各種団体等）が政治家に対して寄附を求めることも禁じられています。

区民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

困難な時代に向けて、より効果的かつ柔軟な区政運営を

新宿未来の会

一時は収束に向かっていた新型コロナウイルス禍も最近は新しいオミクロン株の脅威によって予断を許さない状況になりつつあります。またそれにともなっての経済的な不安定さも区政に暗い影を落としつつあります。

このような困難な時代にあっては、より効果的かつ柔軟な姿勢をもって区政の運営にあたらなければなりません。それには次々と変化する状況を適切に把握することで、限られた資源を重点的に活用する、いわゆる「選択と集中」の考え方が行政にも求められることは言うまでもありません。そのためのチェック機能としての議会の役割も増していくことでしょう。区民ニーズを最大に取り組んでいくよう、今後とも全力で取り組む所存です。

副幹事長
のづ　ケン
6期
〒161-0033
下落合3-16-16-302
03(3954)3573

幹事長
鈴木　ひろみ
3期
〒162-0041
早稲田鶴巻町556
山口ビル2階
050(3558)1635

えのき　秀隆
7期
〒161-0032
中落合4-6-11
03(5983)8811

生命と健康くらしを守る区政の実現　コロナ対策など全力でがんばります

社民党新宿区議会議員団

かわの　達男
8期
〒169-0075
高田馬場1-20-10-303
03(3208)8340

スマートシティを推進し、新宿区からイノベーションを！

スタートアップ新宿

伊藤　陽平
2期
〒161-0031
西落合1-21-7-105
03(5273)4196

本年も、ちいさき声をすくいあげ、大きな声で議会に届けて参ります！

ちいさき声をすくいあげる会

よだ　かれん
1期
〒169-0075
高田馬場
4-27-15-104
03(6908)9617

令和４年　第１回定例会のお知らせ

★2月22日から3月29日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本会議	2月22日・28日 3月 1日・29日
予算特別委員会	3月 2日～16日
常任委員会	3月22日・23日
特別委員会	3月24日・25日

★手話通訳者または要約筆記者を配置できます。事前に議会事務局（TEL03−5273−3534、FAX03−3209−9995）までご連絡ください。

★本会議・予算特別委員会は、「新宿区議会ホームページ」でインターネット中継（生中継・録画）を実施します。ぜひご利用ください。

★本会議場の傍聴席に、ヒアリングループシステムを設置しています。
また、ヒアリングループシステム用受信機を貸し出しています。ご希望の方は、議会事務局にお申し出ください。

凡例

会派役職
氏　名
当選期数
住　所
電話番号

議案の概要と審議結果（賛成…○、反対…×）

令和3年第4回定例会　(11月30日～12月9日)

会派略称　自　民＝自由民主党新宿区議会議員団　公　明＝新宿区議会公明党
共　産＝日本共産党新宿区議会議員団　民無ク＝立憲民主党・無所属クラブ
新宿会＝新宿未来の会　社　民＝社民党新宿区議会議員団
スタ新＝スタートアップ新宿　ちい声＝ちいさき声をすくいあげる会

議案名			概要	自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声	議決結果
区長提出議案（24件）	予算（5件）	令和３年度新宿区一般会計補正予算（第10号）	補正予算額：1億8,547万7千円、補正後予算額：1,719億7,549万4千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症感染者となり入院病床に空きがなく、自宅等に待機となる方の入院待機施設の整備・運営に要する経費、新型コロナウイルス感染症に感染又は濃厚接触者となった高齢者及び障害者にヘルパー派遣を実施するとともに、訪問介護事業者等の継続的なサービス提供の支援に要する経費　等を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和３年度新宿区一般会計補正予算（第11号）	補正予算額：2億6,655万3千円、補正後予算額：1,722億4,204万7千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した施設利用制限による利用料金収入減等に伴う指定管理料の増額に要する経費、区立小学校移動教室の中止に伴う代替行事の実施等に要する経費、法改正に伴う保健情報システム改修委託に要する経費、新型コロナウイルスワクチン接種会場としての施設利用による利用料金収入減等に伴う指定管理料の増額に要する経費、寄付金の積立に要する経費　等を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和３年度新宿区一般会計補正予算（第12号）	補正予算額：7億8,207万7千円、補正後予算額：1,730億2,412万4千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活支援としての臨時特別給付金の支給に要する経費、現員現給による調整及び期末手当支給率改定等に伴う給与費の減、区議会議員の欠員（議員数38人→36人）等に伴う議員報酬及び政務活動費の減、議員期末報酬0.15月引下げに伴う減、特別職諸手当等（期末手当）0.15月引下げ等に伴う減　等を計上	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
		令和３年度新宿区国民健康保険特別会計補正予算（第５号）	補正予算額：△2,192万4千円、補正後予算額：352億3,477万5千円 補正の理由：現員現給による調整及び期末手当支給率改定等に伴う給与費の減　等を計上	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		令和３年度新宿区介護保険特別会計補正予算（第４号）	補正予算額：△3,667万5千円、補正後予算額：276億5,545万1千円 補正の理由：現員現給による調整及び期末手当支給率改定等に伴う給与費の減　等を計上	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	条例の改正（7件）	新宿区環境土木・都市計画事務手数料条例の一部を改正する条例	「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」の改正等に伴い、長期優良住宅建築等計画認定申請手数料等の額を改定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	議長、副議長、委員長、副委員長及び議員の期末手当の年間の支給月数を0.15月引き下げ、2.90月とする。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		新宿区長及び副区長の給料等及び旅費条例の一部を改正する条例	区長及び副区長の期末手当の年間の支給月数を0.15月引き下げ、2.90月とする。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		新宿区教育委員会教育長の給料等及び勤務等に関する条例の一部を改正する条例	教育長の期末手当の年間の支給月数を0.15月引き下げ、2.90月とする。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		新宿区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	令和３年特別区人事委員会の勧告を受け、職員の期末手当及び勤勉手当の年間の支給月数を0.15月（再任用職員は0.05月）引き下げ、4.45月（再任用職員は2.35月）とし、引下げ分は、期末手当に割り振る。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		新宿区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	会計年度任用職員の期末手当の年間の支給月数を0.15月引き下げ、2.40月とする。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
		新宿区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	令和３年特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の期末手当及び勤勉手当の年間の支給月数を0.15月（再任用職員は0.05月）引き下げ、4.45月（再任用職員は2.35月）とし、引下げ分は、期末手当に割り振る。	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	その他（12件）	訴訟上の和解について	財産権の侵害等に係る損害賠償請求事件について、和解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		特別区人事及び厚生事務組合規約の一部を変更する規約について	特別区人事及び厚生事務組合が共同で処理する事務に、救護施設の設置及び管理に関する事務を追加するため、規約を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		公の施設の指定管理者の指定について	新宿ＮＰＯ協働推進センター（高田馬場4-36-12）　…一般社団法人新宿ＮＰＯネットワーク協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			新宿文化センター（新宿6-14-1）　…公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			あゆみの家（西落合1-30-10）　…社会福祉法人新宿区障害者福祉協会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			戸山シニア活動館（戸山2-27-2）　…特定非営利活動法人ワーカーズコープ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			百人町地域交流館（百人町2-18-21） 百人町児童館（百人町2-18-21）　…株式会社ポピンズ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			北新宿地域交流館（北新宿2-3-7） 北新宿第一児童館（北新宿2-3-7）　…株式会社ポピンズ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			本塩町地域交流館（四谷本塩町4-9） 本塩町児童館（四谷本塩町4-9）　…株式会社ポピンズ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			上落合児童館（上落合2-28-8）　…株式会社ポピンズ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			区民ギャラリー（西新宿2-11-4） 環境学習情報センター（西新宿2-11-4）　…特定非営利活動法人新宿環境活動ネット	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		公の施設の指定管理者の指定の変更について	元気館（戸山3-18-1） 指定期間の変更　変更前：平成29年4月1日から令和4年3月31日まで 変更後：平成29年4月1日から令和5年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案（2件）	意見書（2件）	出産育児一時金の増額を求める意見書	1面の「意見書（要旨）」をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		デフリンピックの東京招致を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和３年度上半期　政務活動費の各会派収支状況〔令和３年４月～９月分〕

（単位：円）

会派名	人数	収入	支出 調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料費	人件費	事務費	支出合計
自由民主党新宿区議会議員団	10(※1)	9,450,000	199,224	3,000	3,128,905	240,391	0	0	613,686	2,010,000	1,504,510	7,699,716
新宿区議会公明党	9	8,100,000	0	0	2,915,626	0	0	0	739,172	0	2,011,006	5,665,804
日本共産党新宿区議会議員団	7(※2)	6,150,000	99,000	32,560	2,563,285	260,695	0	0	206,225	78,480	1,403,830	4,644,075
立憲民主党・無所属クラブ	4(※3)	4,050,000	61,669	12,150	1,389,363	0	1,960	0	79,250	465,000	138,582	2,147,974
新宿未来の会	3	2,700,000	14,834	0	567,566	0	0	0	0	0	315,712	898,112
社民党新宿区議会議員団	1	900,000	15,000	0	290,500	60,000	0	0	25,800	0	344,770	736,070
スタートアップ新宿	1	900,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ちいさき声をすくいあげる会	1	900,000	335,940	30,000	88,560	29,060	0	0	82,586	0	34,188	600,334
新宿区民を守る会(※4)	1	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		33,300,000	725,667	77,710	10,943,805	590,146	1,960	0	1,746,719	2,553,480	5,752,598	22,392,085

※上記は令和３年10月末時点での報告額です。年度末に令和３年度支出額が確定します。
○収入 ･･･ 区が会派に対して交付した金額です。月額15万円に会派の人数を乗じた金額になります。
○年度末に生じた残額（収入－支出合計）は、区へ返還されます。なお、支出合計が収入を上回った場合でも、政務活動費は追加交付されません。
●政務活動費 … 地方自治法に基づき「新宿区政務活動費の交付に関する条例」を制定し、議員（会派）の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、区が会派に交付しています。
●政務活動費は、次の使途に用いることはできません。①政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人への利益のために要する経費としての支出　②日当（1日あたりの決まった手当て）としての支出　③寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出　④交際費に要する経費への支出（結婚式の祝い金、香料、見舞金等）
※1「自由民主党新宿区議会議員団」の会派人数は、4月～6月は11人、7月～9月は10人です。
※2「日本共産党新宿区議会議員団」の会派人数は、4月は6人、5月～9月は7人です。
※3「立憲民主党・無所属クラブ」の会派人数は、4月～6月は5人、7月～9月は4人です。
※4「新宿区民を守る会」は、令和3年4月22日付で会派消滅しました。

議員研修会を開催

「清掃一部事務組合の概要・ごみの中間処理・清掃工場の建替・コロナ禍での変化等について」

11月29日、東京23区清掃一部事務組合の職員3名を講師にお招きし、研修会を開催しました。

ごみの焼却方法や処理施設の整備状況、環境に配慮した最新の取組みなどの話題を中心に説明をいただき、清掃事業が果たす重要な役割への理解を深めました。

令和３年度上半期　議長交際費支出状況〔令和３年４月～９月分〕

（単位：円）

支出先＼支出項目	会費 件数	会費 金額	見舞い 件数	見舞い 金額	弔慰 件数	弔慰 金額	接遇 件数	接遇 金額	合計 件数	合計 金額
町会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商店会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種関係団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	10,000	0	0	1	10,000
合計	0	0	0	0	1	10,000	0	0	1	10,000

○**議長交際費**…円滑な議会運営を図るため、議長が議会を代表して各種行事や接遇・儀礼など対外的な活動をするために支出する経費です。
○**毎月の執行額について**…月ごとの集計額を翌月に区議会ホームページで公表しています。平成３０年４月分以降をご覧いただけます。

区政のここを問う

新型コロナウイルス感染第6波への備え等について

自由民主党新宿区議会議員団 代表質問

渡辺 みちたか

質問 感染拡大の第6波を防ぐ新型コロナウイルス感染対策、経済再生へのスピード感ある対策を講じることが重要。政府は今冬に懸念される新型コロナウイルス感染第6波に備えた対策の全体像をまとめ、大型の経済対策を示したところだが、これらを補完する区の独自施策として、中小企業を中心とした地域経済対策をどう行っていくのか。

答弁 現在、区独自の地域経済対策として、商工業緊急融資（特例）、おもてなし店舗支援事業、専門家活用支援事業などを実施するとともに、キャッシュレスポイント還元事業の実施やプレミアム付き商品券の発行を行っている。また、区内地域経済の状況等を踏まえ、貸付限度額の引き上げや補助対象期間の延長、商品券の増刷等も行っている。これらの事業を引き続き行い、コロナ禍によって変化した経営環境に柔軟に対応し、地域に根差した事業活動を継続できるよう支援していく。

ポストコロナを見据えた中小企業対策としての事業承継支援

質問 国による資金繰り支援の効果等もあり、都内の10月の倒産件数は40年で最小の低水準で推移している。一方で、中小企業の本業の収益が悪化している状況から、今後、事業廃止が多発化する可能性があり、中小企業対策として事業承継支援が求められる。区は、今後どのような施策を行うのか。

答弁 事業承継を考えるきっかけ作りのためのセミナーを実施しており、今後、東京都中小企業診断士会と連携し、事業承継の重要性や承継先の検討、法律や税制についてのセミナー動画を作成し、区公式YouTubeで公開していく。引き続き、各種支援機関との連携を図りながら、事業承継の支援を行っていく。

下落合駅周辺の開かずの踏切の解決に向けて

質問 下落合駅前踏切をはじめとした西武新宿線の開かずの踏切問題は地域の長年の懸念である。西武新宿線の複々線化計画の廃止を受けて今後の区の対応は。

答弁 西武新宿線のいわゆる開かずの踏切は、地域の方々の日常の暮らしや災害時の活動にとって大きな課題となっている。西武新宿線の複々線化計画が廃止された今、連続立体交差化の必要性がこれまで以上に増すものと認識。連続立体交差化は、地域におけるまちづくりと大きく連動することから、地域の将来像や鉄道立体化を契機としたまちづくりの方針などを検討することが必要。今後、地域の方々と沿線のまちづくりに関する意見交換会の実施などを検討。また、都と情報交換等を行い、開かずの踏切対策の着実な推進に向けて連携を図っていく。

西武新宿線の開かずの踏切対策の推進を

マイナンバーカードの普及促進と支援コーナーの充実を

新宿区議会公明党 代表質問

時光 じゅん子

質問 政府は、マイナンバーカードの普及と消費の喚起に向け、一人当たり最大2万円分のポイントを内容に応じて付与する「新たなマイナポイント」を実施する方針を決めた。そこで、区が行うマイナポータル端末による支援コーナーを充実させるため、マイナポータル端末を増設し、支援コーナーを周知していく必要があるが、区の考えは。

答弁 区役所での申請を希望する方が増加することが想定され、マイナポータル専用端末の増設や申請手続きの支援員の増員等の支援体制の強化を検討。広報新宿や区HP・SNSをはじめ、様々な機会を捉えて周知に努める。

マイナンバーカードの普及促進を

CO2削減につながる省エネ機器への助成拡充を

質問 区の実施する事業の中でも、直接的にCO2削減になるマンション等の共用部分のLED照明や蓄電池といった区民向け省エネルギー機器の設置助成の補助件数の実績が伸びている。こうした高実績の既存事業に関しては事業の拡充、予算の増額を行うべきと考えるが、いかがか。

答弁 集合住宅共用部LED照明や蓄電池については、区民からの人気が高く、今後も補助件数は増大していくものと考えている。こうした区民ニーズに的確に応えるとともに、CO2削減の一層の促進を図るため、予算の増額等について検討していく。

3回目のワクチン接種について

質問 ワクチン接種予約においては、1回目接種の予約時に電話回線がなかなか繋がらず予約が取れないなど、多くの区民からご意見を頂いた。3回目接種においてはこれまでの経験やノウハウを活かし、スムーズに予約ができる体制を整備すべき。

答弁 3回目接種予約に係る負担軽減のため、65歳以上の高齢者は原則、お近くの区の集団接種会場での接種日時を区が指定する。また、お近くの医療機関での個別接種に変更を希望する場合、キャンセルにより変更できるようにする。手続き方法等は、接種券の同封物や広報新宿、区HP等でお知らせしていく。

障害者のスポーツ施設の利用料

質問 障害者が日常的にスポーツに親しみ、楽しめるような環境づくりをどのように確保していくのか。スポーツ施設の利用料の減免を拡充するほか、障害者団体の利用や障害者スポーツの大会等にも減免措置を設けるなど更に踏み込んだ取組みが必要と考えるが、区のご所見は。

答弁 障害者が利用しやすい環境づくりが重要。現在、プールの利用料のみ減額。令和4年度から新宿スポーツセンターやコズミックスポーツセンター等スポーツ施設の障害者利用料金を免除する方向で検討。さらに障害者団体によるスポーツ大会等も免除する方向で検討。

防災ラジオの普及について

質問 防災ラジオの普及については、ネット環境やスマホ等を持たない情報弱者に対して、災害時の情報伝達の有効なツールとして、これまでも様々な機会を捉えて提案してきた。区は、情報伝達の一つとして検討していると思うが、取組み状況は。

答弁 区では、インターネット等を利用されない高齢者等を対象とし、防災ラジオの導入を検討。この防災ラジオは、普段はFM等を聴取し、区が避難指示や避難所開設状況等の情報を発表した場合、電源がOFFでも自動起動し、ラジオ放送への割り込みや区からの伝達情報を再生できる。さらに聴覚障害者の方には、文字による伝達も行うことができる。令和4年度の導入に向け、具体的な検討を進めていく。

第6波に備えた新型コロナウイルス感染症対策を

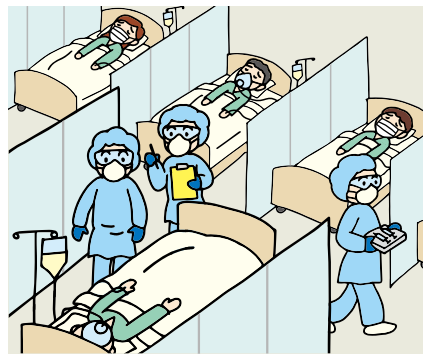
日本共産党新宿区議会議員団 代表質問

近藤 なつ子

質問 新宿区の累計感染者数は11月28日現在、18,478人で、この約半数が第5波で発生しており、在宅死や今も後遺症に苦しんでいる方がいる。ブレイクスルー感染もある。第6波に備え、①国に対し無料検査対象を限定せず、広く実施するよう要望すべき。②区も民間検査会社への委託やPCR及び抗原検査キットを配布するなどで無料検査を実施すべき。③第5波のような事態を回避するため、自宅待機者をつ

くらないよう、区はホテルの借り上げやスポーツセンター等を活用し、治療ができる臨時病院を準備すべき。

答弁 ①国に対する無料検査の要望は予定していない。②区として無料検査を実施することは予定していない。③区内基幹病院および区医師会との連携により入院可能病床の確保や、入院待機施設を区が新たに設置するため、ホテルの借り上げや臨時病院の準備は予定していない。


第６波に備えた臨時病院の準備を

育休中の保育園在園期間延長と転職・求職の取扱いの改善を

質問 ①2017年の法改正で子どもが1歳6か月に達した時点で保育園に入れない場合、2歳になるまで育児休業を延長できるようになった。区は、これに対応した上の子の在園期間2年延長を認めていない。法改正との整合を図るべき。②「育休中に転職したら、上の子が退園させられた」との区民の体験が新聞に掲載された。育休中の退職による転職や求職中であっても「保育の必要性」はあり、在園の継続を認めるべき。

答弁 ①今後、保護者が育児休業を取得する最長2年間について上の子の継続在園を認める方向で検討している。②転職して引き続き就労している場合や求職活動を継続的に行っている場合は保育の必要性の認定を行っている。その上で継続在園を認めるかは個別の事情を伺いながら柔軟に対応している。現行の取扱いを変える考えはない。

十分説明ができる清風園解体等工事説明会を開催すべき

質問 11月に開催された清風園解体等の工事説明会では十分な説明が行われないばかりか再度の説明会には応じないとの答弁であった。区と施工業者からは「今後検討する」との回答があまりに多く、参加者からは再度の説明会を求める意見が多数出された。検討事項が固まり次第、説明会を行うべき。

答弁 近接の方々からは説明会の要望はなかったと認識している。今回いただいたご意見は個別に丁寧に説明していく。

新型コロナウイルスワクチン接種と今後の施策について

立憲民主党・無所属クラブ 代表質問

志田 雄一郎

質問 ①３回目に異なるワクチンを接種する交互接種の安全性と効果についての認識は。②５歳から11歳までのワクチン接種をどう進めるのか。また、体制の整備の進捗状況は。③非接触型検温器をすべての幼稚園や保育園、子ども園に設置すべき。

答弁 ①交互接種として異なるワクチンの追加接種を受けても安全性や効果には問題ないと認識している。②保護者に有効性と安全性を丁寧に説明し、保護者の同意を確認してから実施。また、区医師会や区内医療機関等と協議し体制整備を進めていく。③区立保育園での検温器設置は進んでいないが、今後導入を検討。区立幼稚園では5園に設置。残り9園も導入を検討。私立保育園では一部の園、私立幼稚園は4園が導入。その他の園も助成制度等を活用しそれぞれの状況に応じた物品を購入してほしいと考えている。

こまめな検温が体調管理の第一歩

子宮頸がんワクチンの積極勧奨再開に向けての取組み

新宿未来の会 代表質問

鈴木 ひろみ

質問 11月12日に子宮頸がんワクチンの勧奨再開の報を聞くことができた。①最新の科学的知見に基づき、自治体がワクチン接種の利益とリスクの丁寧な情報提供を行うことで十分な理解のもと接種の判断がなされるよう、主体的に積極的な接種勧奨をすべきと考えるが、今後の接種勧奨の取組みは。②希望する方に適切なワクチン接種ができるよう、ぜひご尽力いただきたいと考えるが、ご所見は。

答弁 ①区では、最新の知見に基づいた接種により得られる効果、副反応等の情報について対象者に丁寧に周知し、積極的に勧奨を実施していく。②今後も国の動向を注視し、決定次第、希望する方へ迅速かつ適切にワクチン接種を実施していく。

積極勧奨が中止となった間に定期接種の対象年齢を過ぎた女性も対象

新宿区議会 ホームページもご覧ください

新宿区議会ホームページでは、区議会のインターネット中継（生中継・録画）、会議録の検索のほか、議会の予定や議員名簿、請願・陳情、意見書の全文などをご覧いただくことができます。

▲ インターネット中継（生中継・録画中継）

一般質問

ちいさき声をすくいあげる会

よだ かれん

区民の個人情報保護と行政に対する信頼について

質問 ①自分の情報を提供してほしくない区民の情報を除外することは可能か。またその手続きは。②国に対して、情報公開と説明責任を果たすことで国民の信頼を得るよう進言すべき。また、区としても今まで以上に積極的な情報公開と個人情報保護に努めるべき。

答弁 ①申し出を受け、情報公開・個人情報保護審議会等で審議する可能性はある。②今後も積極的な情報公開と個人情報保護に努める。国も同様と認識しており、国への進言は行わない。

社民党新宿区議会議員団

かわの 達男

人にやさしいまちづくりを

質問 バリアフリーで人にやさしいまちづくりが求められる。①「新宿区移動等円滑化促進方針」の今後の進め方は。②乗り換えの利便性のため複数のエレベーターが不可欠の駅も。③ソフト・ハードの両面から人にやさしい道づくりをすべき。④神宮外苑地区の都市計画は緑と歴史・文化を重んじるべき。

答弁 ①方針の周知啓発と関係機関との個別協議を実施。②バリアフリールートの複数化等は重要。鉄道事業者に対し働きかける。③両面から取り組む考え。④今後の再編計画を適切に誘導。

スタートアップ新宿

伊藤 陽平

児童養護施設と連携して退所後まで丁寧な支援を

質問 児童養護施設退所後の児童への支援については検討しているか。他自治体では、児童福祉司が現場のノウハウを持っていないために施設側に負担をかける例もあるようだが、区内の児童養護施設等と連携し、人材育成を進めていくべきでは。

答弁 退所時やその後のフォローなど、都が行っている対応を引き継いで行く必要があると認識。東京都児童相談所等に職員を派遣。児童養護施設等のご意見も伺いながら先行自治体の状況等を踏まえ調査研究していく。

自由民主党新宿区議会議員団

渡辺　清人

保育園等の在園要件について

質問 保育園等を利用している子の保護者が、弟や妹の育児休業を取得している場合の保育園等の在園要件に関する取扱いについて、運用見直しの考えは。

答弁 育児休業制度が適用されない自営業の保護者が復職を前提とした育児休業を取得する場合も含め、今後は、認可保育園等の申込の有無を問わず、最長で2年間、上の子の継続在園を認める方向で検討。育児休業中の転職は、現在と同様、個別の事情を聞きながら柔軟に対応。

新宿区議会公明党

三沢 ひで子

若松地域のまちづくりの課題

質問 ①整備中の環状第4号線と東京医大通りが交差する横断歩道に、早急な信号機設置の要望が多数ある。区の見解は。②曙橋駅周辺の環境整備として、駐輪場の拡大の要望及び、ネズミの発生に対して、区の考えは。

答弁 ①歩行者等の安全確保の観点から、早期の設置を都に要望する。②現時点での曙橋駅周辺の駐輪場増設は難しい状況。ネズミ対策として駅前の植樹帯は、都へ実態調査を依頼し、清掃・剪定、駆除を要望する。

日本共産党新宿区議会議員団

川村　のりあき

特別障害者手当の周知徹底を

質問 特別障害者手当の対象となるケースで未申請の方がいる。①区HPや制度説明資料を早急に改善すべき。②要介護4・5の方への申請書の直接送付を含め、介護保険課や高齢者総合相談センター、ケアマネジャーと連携し遺漏なく周知を。

答弁 ①区HPと同様に制度説明資料にも注釈を入れ、わかりやすい周知に努める。②一律に申請書を送ることは考えていない。高齢者総合相談センターやケアマネジャーへ定期的に情報提供。

立憲民主党・無所属クラブ

田中 ゆきえ

コロナ禍におけるがん検診

質問 2020年はがんと診断された人が前年比9.2%減、また、緊急事態宣言発令などで受診率が3割減という調査があります。区のがん検診の受診状況と現況への対応について伺います。

答弁 令和2年度の各がん検診受診率は前年度比0.8～1.3%減ですが、子宮頸がん検診のみ0.1%増です。検診票の個別送付や未受診者への再勧奨、社会保険加入者等への勧奨はがきを早めに送るなどの工夫を重ねています。今後も受診勧奨に取り組みます。

新宿未来の会

のづ　ケン

デジタル・ヒューマンの可能性

質問 デジタル・ヒューマンは、性別、人種、年齢なども自由自在に変化させることが可能なため、自治体で受付業務などでより柔軟かつ適切で親しみやすいサービスが可能になる。デジタル・ヒューマンの技術を、将来的には様々な行政分野に適用していくことへの見解は。

答弁 デジタル・ヒューマンの導入にあたっては、最新テクノロジーの動向や民間などの取組みを注視し、区としてどのような活用ができるか研究していく。

自由民主党新宿区議会議員団

永原 たかやす

防犯カメラの設置について

質問 犯罪の抑止効果などから区民からは防犯カメラの更なる設置を求める声がある。社会情勢を踏まえ、今後の展望は。

答弁 区内においても街頭防犯カメラの設置を希望する地域団体が増加。引き続き、都の補助金を活用しつつ地域の要望に応えていく。また、防犯カメラ同士の連携や、AIでビッグデータを解析した動向分析や対象者特定などへの活用について、国での開発実証実験の検討が進んでいるため、動向を見守っていく。

新宿区議会公明党

中村 しんいち

産後ケア事業の充実

質問 産後の女性が横になって休息ができるデイケアが必要。しかし、身体が疲労困憊でも区内には日中に休息ができる受け入れ先がない。他区の支援施設と連携するなどして、ゆっくり身体を休められるデイサービス型産後ケア事業を整備すべき。

答弁 区民からの要望が高いショートステイ型産後ケアについては拡充を検討。区外の支援施設の活用も検討。デイサービス型及びアウトリーチ型産後ケア事業は、引き続き研究する。

日本共産党新宿区議会議員団

雨宮　武彦

障害者のスポーツ施設利用料の無料化を

質問 パラリンピックで障害者スポーツが注目され、共生する社会のあり方が問われている。障害者スポーツを発展させ、障害者が気軽に参加できるよう、個人のプール利用を含む体育施設の利用料金と障害者のスポーツ大会等団体利用の無料化を。

答弁 令和4年度から新宿スポーツセンター等スポーツ施設の障害者利用料金の免除を検討。障害者団体や障害者団体のスポーツ大会等も免除を検討。

立憲民主党・無所属クラブ

小野 裕次郎

児童・生徒間のネットを使ったいじめ対策について

質問 ①パソコンやスマートフォンを使用した児童・生徒間のいじめが18,870件と過去最多。ネットを使ったいじめ対策をどう講じるのか。②対面で言い出しにくい子どもの相談の糸口となるような端末機器の活用は。

答弁 ①児童・生徒がインターネットの適切な利用を自ら考え、ルールを守る態度を育めるよう支援する。②アンケート等でいじめを未然防止・早期発見し、SOSを出しやすい環境を整える。

新宿未来の会

えのき 秀隆

受動喫煙防止と喫煙環境の整備

質問 改正健康増進法の趣旨は「望まない受動喫煙防止」である。分煙環境を整備・推進することで喫煙者、非喫煙両者が尊重されることが可能になると考える。①分煙環境を整えることについて、区の見解は。②現在の助成施策の進捗状況の見解は。

答弁 ①分煙環境の整備が必要と認識。今後も様々な取組により、分煙環境をより一層充実させていく。②様々な媒体や機会を通じ、助成制度の周知を図り、公衆喫煙所等の整備を進める。

自由民主党新宿区議会議員団

大門 さちえ

区におけるSDGsの取組みについて

質問 「持続可能な開発目標」を意味するSDGsという言葉が、今日では一般的になり、自治体としても、持つべき目標となっている。区のSDGsへの取組み状況は。

答弁 令和3年度から、新宿再エネオークションやフードドライブの窓口設置など企業と連携した新たな取組みも開始するなど、今後も各分野における取組みを着実に推進。また、「SDGs未来都市」の選定自治体におけるSDGsの取組みやモデル事業の内容などについて研究していく。

新宿区議会公明党

有馬 としろう

西武新宿線の安全対策について

質問 ①高田馬場駅から西側14箇所の「開かずの踏切」は、依然として解消の先が見えない。都や西武鉄道と連携し、連続立体交差化に向けて取り組むべき。②下落合駅のホームドア設置を、都や西武鉄道に働きかけるべき。

答弁 ①今後、地域の方々と沿線のまちづくりに関する意見交換会の実施を検討。都と情報交換等を行い、連携を図る。②令和3年11月策定の「新宿区移動等円滑化促進方針」に基づき、西武鉄道や都に強く働きかける。

委員会の動き

特別職の報酬に関する条例等の議案のほか補正予算等を審査

総務区民委員会

●今定例会では、議案12件と陳情2件を審査し、2件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、区議会議員の報酬改定を内容とした一部改正条例、区長・副区長の給料等の改定を内容とした一部改正条例、特別区人事委員会勧告による職員の給与改定を内容とした一部改正条例等の議案4件、これらに関連した補正予算3件のほか、新宿NPO協働推進センターの指定管理者の指定に関する議案等3件、新型コロナウイルス感染症対策経費を含む補正予算2件を審査し、可決しました。

●陳情審査では、「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画の断念について国に対し意見書の提出を求める陳情」を継続審査とし、その他1件は審査未了としました。

●報告案件では、「交通系電子マネーによる新たな決済手段の開始について」など2件の報告を受け、質疑を行いました。

公の施設の指定管理者の指定などの議案を可決

福祉健康委員会

●今定例会では、議案8件と陳情6件を審査し、8件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「公の施設の指定管理者の指定について」など5件は全員賛成。「令和3年度一般会計補正予算（第12号）中歳出第5款福祉費歳出第7款健康費」など3件は、賛成多数で可決しました。

●陳情審査では、新たに付託された「デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に関する陳情」は採択、「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情」など3件は、各会派の意見が一致せず、審査未了となりました。また、継続審査中の2件は、引き続き継続としました。

●報告案件では、「新型コロナウイルスワクチン接種について」や「新宿区立清風園解体及び擁壁改修工事の工事説明会の実施結果について」など8件の報告を受け、質疑を行いました。

新宿区環境土木・都市計画事務手数料条例の一部を改正する条例等の議案と陳情を審査

環境建設委員会

●今定例会では、議案3件と陳情6件を審査し、4件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区環境土木・都市計画事務手数料条例の一部を改正する条例」や「公の施設の指定管理者の指定について」など、議案3件について審査し、全会一致で可決しました。

●陳情審査では、「西武鉄道新宿線の開かずの踏切対策に関する陳情」を採択し、「余丁町集合住宅建設に関する陳情」や「地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情」は継続審査となりました。そのほか、2件が不採択、1件が各会派の意見が一致せず、審査未了となりました。

●報告案件では、「民間事業者を活用して整備した駐輪場（東部エリア）の開設について」など4件の報告を受け、質疑を行いました。

児童館等の公の施設の指定管理者の指定などの議案を可決

文教子ども家庭委員会

●今定例会では、議案8件を審査し、7件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、児童館等の「公の施設の指定管理者の指定について」のほか、「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第11号）中歳出第6款子ども家庭費歳出第10款教育費」、子育て世帯への臨時特別給付を含む「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第12号）中歳出第6款子ども家庭費歳出第10款教育費」などの審査を行い、いずれも全員賛成で可決しました。

●報告案件では、指定管理者の選定結果など7件の報告を受け、質疑を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策、安全安心パトロール隊の対応業務について議論

防災等安全対策特別委員会

●今定例会では「新宿区安全安心パトロール隊の今後の対応業務について」を議題とし、質疑を行いました。

●危機管理部局外との連携体制について確認がなされたほか、支援団体と警察との連携体制のあり方について、課題の共有などが議論されました。東宝ビル横等を中心に集まる通称トー横キッズについての保護や、路上飲みなどを含む対応のあり方への意見もありました。

●報告案件では、「新型コロナウイルス感染症対策本部会議実施状況について」の報告を受け、質疑を行いました。区組織の感染対応の徹底について、具体的な説明を求めたほか、区主催の集客イベントの可否における判断基準などについて質疑がありました。

●今後も引き続き、区民の安心安全を確保するため区の施策について議論していきます。

令和3年度外部評価実施結果などの説明を受け議論

自治・議会・行財政改革等特別委員会

●今定例会では、調査事件2件を議題としました。

●「令和3年度外部評価実施結果について」は、理事者から説明を受け質疑を行いました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止された外部評価ですが、オンライン会議を併用し工夫した運営方法を評価しました。さらに、3つの個別施策とそれを構成する事業について、外部評価委員会により評価された内容や評価の指標などに対し、質疑が行われました。また、新たな課題として、新型コロナウイルス感染症対策そのものを評価の対象にする必要があるのでは、との意見もありました。

●「文書共有システムの利用状況調査について」は、説明を受け意見交換を行いました。他の課題について意見がありましたが、議会ICT化に向け文書共有システムのさらなる利用促進のため調査実施の可否については、可としました。

文化施設の指定管理者の指定や補正予算について可決

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

●今定例会では、議案3件と陳情1件を審査し、1件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「令和3年度新宿区一般会計補正予算（第11号）中歳出第4款文化観光産業費」などの補正予算2件と「新宿文化センターの指定管理者の指定について」の審査を行い、いずれも全員賛成で可決しました。

●報告案件では、「歌舞伎町観光バス駐車場の営業終了について」の報告を受け、質疑を行いました。

皆様から託された請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は、区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。（［　］は審査を行った委員会名）

採　択　2件

□デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に関する陳情［福祉健康委員会］

□西武鉄道新宿線の開かずの踏切対策に関する陳情［環境建設委員会］

不採択　2件

□荒木町における建築物の道路斜線に関する陳情［環境建設委員会］

□居宅部分を含めた土地の区道認定・決定の取消に関する陳情［環境建設委員会］

継続審査　1件（新たに提出されたもの）

□地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情［環境建設委員会］

審議未了　6件

□スポーツ施設の使用料金軽減に関する陳情［総務区民委員会］

□安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情［福祉健康委員会］

□新型コロナワクチン接種の推進と感染者に対する早期治療、PCR検査の拡充を求める陳情［福祉健康委員会］

□高すぎる国民健康保険料を引き下げるために、豊かな新宿区の財政より、法定外の繰り入れをおこない1人1万円の引き下げを新宿区に求める陳情［福祉健康委員会］

□羽田新ルートの運用停止を求める意見書を国に提出することを求める陳情［環境建設委員会］

□文化施設の使用料金軽減に関する陳情［オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会］

あとがき

あけましておめでとうございます。

謹んで区民の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

今年も区議会を身近に感じていただけるような紙面づくりに努力してまいります。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員

桑原　ようへい
豊島　あつし
永原　たかやす
木もと　ひろゆき
川村　のりあき
田中　ゆきえ
えのき　秀隆

● 本紙に関する問い合わせ　議会事務局調査管理係　電話：03－5273－3534　FAX：03－3209－9995

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。